

離島における災害復旧事業について (令和2年6月豪雨災害)

鹿児島県としまわら十島村 土木交通課 地域整備室長 くらまち 藏町 たくろう 拓郎



1. はじめに

十島村は、有人島7島、無人島5島の小規模の島々が南北160kmに点在し、役場庁舎が行政区域外の鹿児島市にある特異な環境下で、人が常時居住している地域としては、「日本一長い村」で、人口654人、374世帯（令和4年10月末現在）、各島50人から140人（世帯数30世帯から90世帯）が生活しています。

各島には村の出先の出張所がありますが、会計年度職員の出張所長のみが勤務しており、村内の職員は各島の診療所に勤務する看護師のみで、他職員は鹿児島市の庁舎で日常勤務に従事しており、有人島7島への唯一の定期交通手段である週に2便の村営定期船「フェリーとしま2」の運航を利用し、役場職員はその都度定期船を利用して各島へ出向いています。



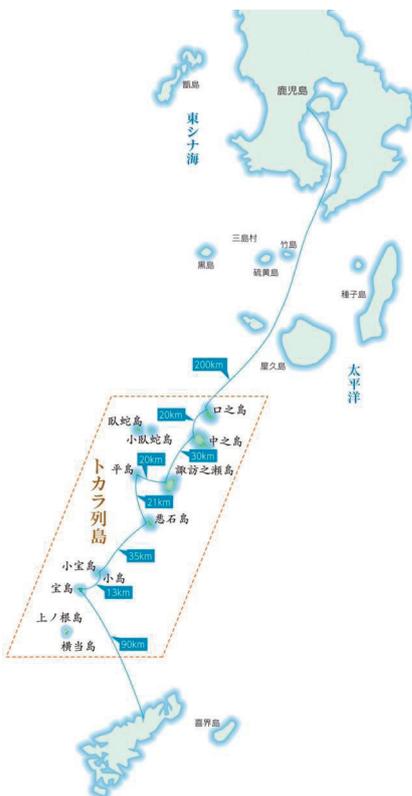
定期船フェリーとしま2

2. 令和2年の災害復旧事業

(1) 災害の状況

令和2年の中之島豪雨災害では、鹿児島県が島内に設置した河川砂防情報システムで、6月4日午前9時から午前10時まで最大時間雨量78mm/h、最大24時間雨量6月4日午前3時から翌5日午前3時まで399mm/hを観測しております。

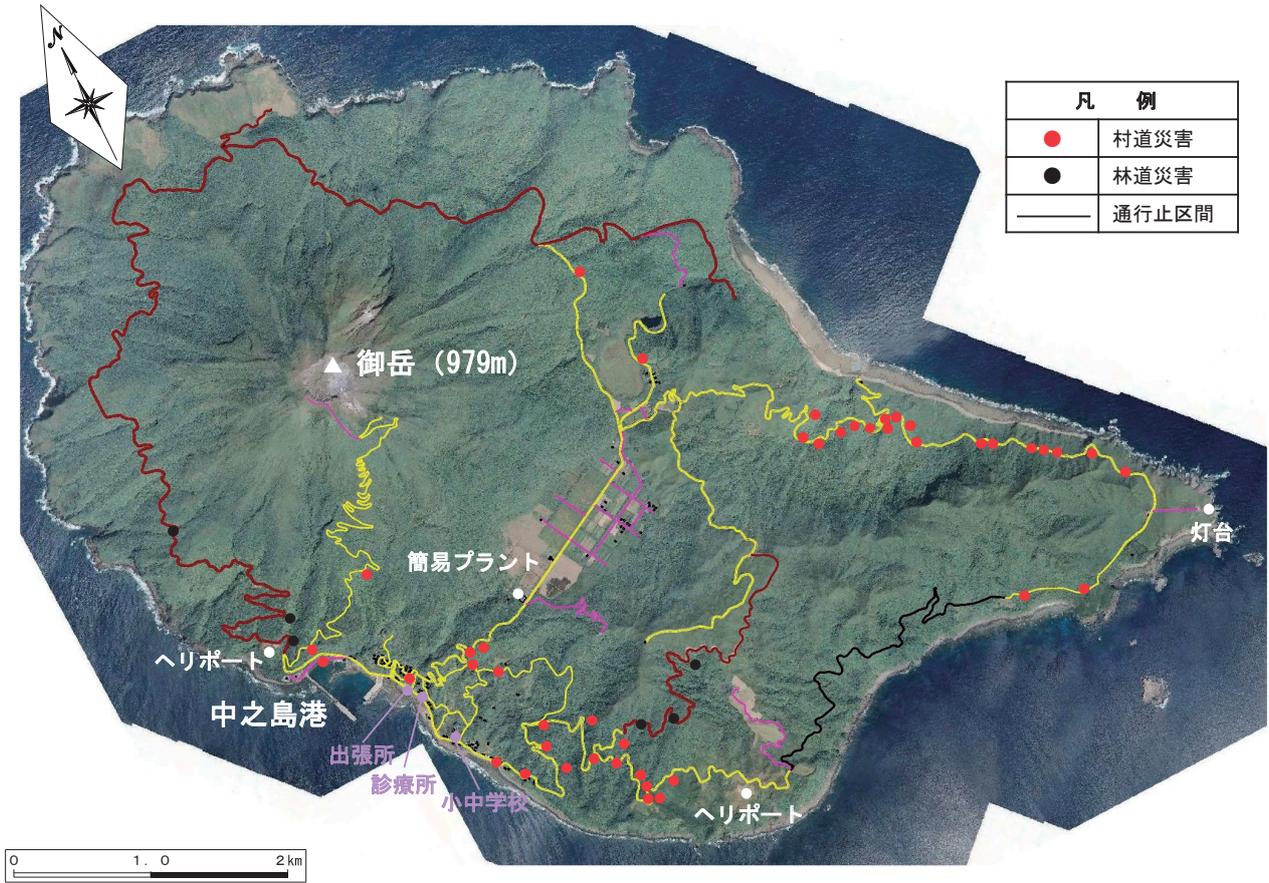
6月4日当日は、午前7時14分に村内全域に大雨警報が発令され、10時36分には50年に一度の記録的な大雨情報が発表され、村は同時刻に地域住民へ避



十島村 位置図



大雨の状況



中之島航空写真

難勧告を発令しております。この豪雨による被害状況は、人的被害は無かったものの、住宅の床上床下浸水4棟の他、断水1箇所と数箇所の停電があり、断水は7日には仮復旧し、集落付近で発生した停電についても5日に仮復旧しました。

一方、島内の道路については、49件の被害箇所を確認し、うち村道10路線37箇所、林道2路線6箇所を災害復旧事業を申請する甚大な被害が発生しました。

集落付近での被害は7件で、被害が集中した路線は島の北側の御岳(979m)の山頂付近のテレビ中継施設に繋がる村道と、海岸線から100mほど中腹に整備した島を一周する村道の2路線で30件の被害を受けました。いずれも斜面上に整備した路線で豪雨により飽和状態となった山側斜面の崩落と、排水施設の処理能力を超えた雨水による路肩決壊と路盤流出や舗装面(コンクリート舗装)の破損が主なもので、それぞれ迂回出来る道路が無い場所で被害を受けております。

冒頭に述べましたように、村職員は島内に勤務していないため、災害発生当日は会計年度職員の出張

所長と地元消防団が本庁の指示を受けながら、集落付近の被災状況の調査を行い、翌5日に村長と他職員が県の防災ヘリにより土砂崩れで通行止めとなった全区間を上空から確認し、被害の甚大さを改めて確認しております。9日には、鹿児島県より8人の職員の御協力を頂き、現地調査を行い災害復旧事業の採択を見込む申請箇所数の確認と決定をしております。



県職員による調査

村職員の技術職の数が少なく災害査定までの間は、県の御指導や県建設技術センター並びに県治山林道協会の御協力を頂き、設計図書作成等を進め、村道37件林道6件を合わせ937,431千円を申請額として、8月20日に林道6件、8月25日に村道21件、9月2日に村道16件の査定を受検し、採択を頂いております。

(2) 公共工事の状況

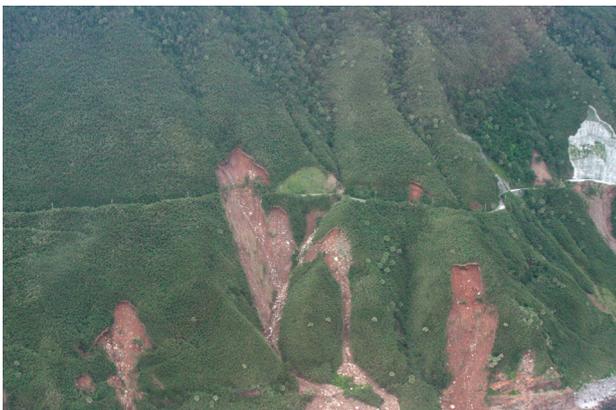
島内に土木事業関係資材を調達する場が無く、コンクリート資材を始め、鹿児島本土や奄美大島から、定期船や作業船をチャーターして資材輸送をしていますが、定期船の貨物積載量の制限や運航間隔が週2便であること、作業船をチャーターするには輸送量を確保しなければならないことなど資材運搬にかかる問題を検討することが必要になります。

その他、島内にはアスファルトプラント施設は無く、道路舗装も殆どがコンクリート舗装となっています。簡易プラントを整備している施工業者もありますが、自社が受注した場合のための簡易プラントで、殆どが現場練り生コンクリートでの工事施工となります。

また、島内の宿泊施設が少なく作業員の受入数に



被災状況（ドローン撮影）



被災状況（ヘリ撮影）



被災状況（着工前）



被災状況（完成）

限りがあるなど、他地域では想像できない様々な支障がある中で、請負者には工事受注して頂いているところです。

村監督員との打合せについては、電話やメール等の連絡が重要となってくるため、現場代理人等については、大変な御苦勞をかけている状況です。

(3) 災害復旧事業の執行状況

復旧工事は工区分けして工事発注をしており令和4年10月末現在で林道全6箇所と村道37箇所のうち29箇所の工事が完成し、7箇所の村道の復旧工事を施工中で、未発注分は1箇所となっています。

集落内の復旧工事は終了し、住民生活には大きな支障が解消されつつありますが、複数箇所を被災した村道2路線については、迂回路や仮設道路を設けられる地形も無いため先行工区の完成を目途に次工区を発注する形をとっています。

3. おわりに

今回の令和2年6月豪雨災害は、発災直後から鹿児島県及び県建設技術センター並びに県治山林道協会の職員の皆様のご協力により、令和5年度中に復旧工事が完了する見込みとなっております。この場を借りて厚くお礼申しあげます。

また、離島での慣れない環境のもとでの測量設計業務や復旧工事に従事して頂いた多くの皆様に感謝を申し上げます。

4. 十島村のPR

今年は3年ぶりに「7島めぐりツアー」や「トカラ列島マラソン」等を実施することができました。7つの島々を村営のフェリーで全てまわることができ、いつも抽選になる程、大人気のイベントです。日本最後の秘境といわれるトカラの大自然を肌で感じることができます。

農産物では、ふるさと納税の返礼品としても人気が高い「島バナナ」や「スイートスプリング」「大名たけのこ」等があります。

令和4年10月から諏訪之瀬島場外離着陸場を活用しての航空路線の運用も開始しており、交通アクセスも増えました。ぜひ、この機会に十島村へお越し下さい。



マラソン大会



口之島（フリイ岳展望台からの眺望）